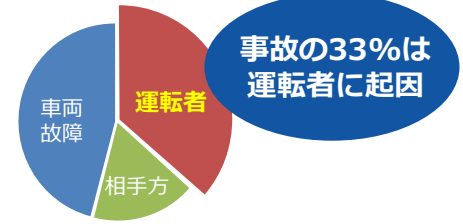


★ 始業点呼について

近年、運輸交通事業者様において、「**運転者に起因する事故**」が多く発生しています。自動車運行は、事故が発生すると人の生命・財産を奪う可能性のある責任の大きい業務なので、管理者の管理/指導も含め、乗務前に行われる始業点呼の重要性がより一層高まっております。



最重要課題

安全・安心・健康

1 免許証不携帯・更新忘れ防止

免許証タッチによる個人認証を行うことで、免許証不携帯・更新忘れを防止。



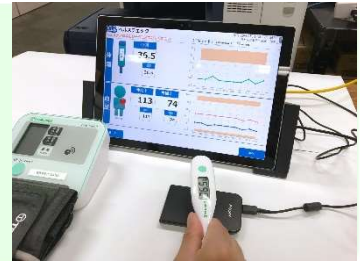
2 アルコールチェック

アルコールチェッカーをUSB接続。測定時に測定者の画像を撮影・保存することで、なりすましによる不正測定を防止。



3 バイタルデータ入力

健康状態を「数値化」し、客観的な体調管理を実現。体温計・血圧計などの機器をリーダーにかざすだけで測定値を自動送信。



4 国交省規定項目確認

国土交通省から推奨されている、点呼時に必要な確認項目をタブレットで回答。入力は「あり/なし」を選択する簡単なアンケート方式。



乗務OK **乗務NG**

※個人情報 は暗号化してデータセンターのデータベースに保存します。



月額利用料 1.5万円/台～ご利用いただけます！

※オプションの追加により変動致します。

※通信費用はお客様負担となりますので、あらかじめご了承ください。

□ システム開発コンセプト

- ① 点呼実施の「エビデンス」確保（誰が・いつ・どのような）
- ② ドライバーに「意識改革」を与える
- ③ 運行管理者の判断をサポートする
- ④ ドライバーに安全運転の「教育・指導」を行うために「データ集積」する

□ システム導入効果

運行管理者は対面点呼時に「顔色」「声色」「様子」「健康管理」状態を確認する必要があるため、健康状態を数値化することで、

- ① 運転者の意識改革および個々の健康状態に応じた的確な点呼・乗務指示徹底を効率的且つ効果的に実施
- ② 事業者と運転者の双方が、健康状況（持病・通院状態・服薬）を把握
- ③ 国土交通省『事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル』に準拠した質問を搭載
- ④ 免許証による個人認証で、免許証不携帯・更新忘れを防止

□ 個人情報として健康状態を扱う上でのセキュリティ対策

- ① システムはクラウドサービスで管理
- ② サーバとの通信は全て暗号化通信
- ③ ファイアウォールで外部ネットワークからの攻撃を防御
- ④ IP アドレスの指定による、拠点からのアクセスのみに制限

□ システムオプション

開発を継続していくことで、システムの質や精度をあげていく方針です。クラウド運用ですので、ソフトを充実させるために新しくなれば新たにソフトを買うという二重投資を防ぐことができます。時期早尚ということではなく、早く入れれば入れるだけ効果が上がり、進化するシステムを早く享受していただけます。

- ① アルコール検知器との連動（一部対応済）
- ② 車検証管理機能
- ③ 睡眠時間の入力（SAS対応）
 - …前日の就寝時間と起床時間を入力することで、勤務前にどれだけ睡眠がとれているかを入力
 - ※右はイメージ図
- ④ 期日管理機能
 - …適齢診断等の受診履歴の管理



③睡眠時間の入力イメージ図

上記データと日々の健康データを収集・分析し、予防へと展開を図るとともに、事故履歴や運転特性のデータを掛け合わせ、将来的には教育・指導ツールとしての活用を目指します。